

廃棄物及び汚染土壌の推計量の精査

本年6月30日に開催された第43回協議会では、平成23年度までに実施した2万9千 m^2 における地山確認の結果及び本年3月に実施したボーリング調査の結果に基づき廃棄物等の総量を推計し、「変更実施計画（素案）」を示したところです。

しかし、その後現場の掘削が進捗し、10月までに2回の地山確認を行った結果、地山確認済面積は全体の51%となる約4万3千 m^2 まで拡大し、より精度の高い推計が可能となったことから、「変更実施計画（案）」の作成に当たり、廃棄物及び汚染土壌の推計量を精査し、77万8千 m^3 （114万9千トン）と算出しました。

1 廃棄物量

平成24年3月に実施したボーリング調査の結果及び本年10月までに実施した地山確認の結果（前回の調査では、廃棄物の深さは平成22年度の調査時より浅いという結果が得られたが、今回の調査では、前回の調査よりも更に浅いという結果が得られた。）に基づき、廃棄物の撤去が完了していないエリアにおける廃棄物推計量を精査し、約73万2千 m^3 （約106万6千トン）としました。

（前回の推計量を約6千 m^3 下回り、当初の推計量を約6万 m^3 上回る。）

2 汚染土壌量

前回の推計時には、地山確認分析結果の一つとして、標高が低いエリアほど汚染土壌の出現率が高くなる傾向が認められ、その分析結果に基づいて汚染土壌量を推計しましたが、その後の地山確認分析では相関関係は認められませんでした。

このため、今後掘削するエリアについては、3月にボーリング調査を実施した箇所とその周辺が同様の土壌汚染の傾向を示すと考えられることから、今回、ボーリング調査に基づき再推計しました。

ボーリング調査では、調査箇所の中の約4割において土壌汚染が確認され、これらを踏まえ、汚染土壌の推計量を約4万6千 m^3 （約8万3千トン）としました。

（前回の推計量を約1万2千 m^3 下回る。）

廃棄物及び汚染土壌の推計量

表1 廃棄物等の推計量（体積ベース）

（単位：千m³）

区 分	当初の推計 (A)	㉔推計		㉔実施計画（素案）の推計			㉔実施計画（案）の推計			
		(B)	(B) - (A)	(C)	(C) - (A)	(C) - (B)	(D)	(D) - (A)	(D) - (B)	(D) - (C)
特定産業廃棄物	671	830	159	738	67	-92	732	61	-98	-6
汚 染 土 壌		11	11	58	58	47	46	46	35	-12
合 計	671	841	170	796	125	-45	778	107	-63	-18

表2 廃棄物等の推計量（重量ベース）

（単位：千トン）

区 分	当初の推計 (A)	㉔推計		㉔実施計画（素案）の推計			㉔実施計画（案）の推計			
		(B)	(B) - (A)	(C)	(C) - (A)	(C) - (B)	(D)	(D) - (A)	(D) - (B)	(D) - (C)
特定産業廃棄物	999	1,226	227	1,070	71	-156	1,066	67	-160	-4
汚 染 土 壌		19	19	101	101	82	83	83	64	-18
合 計	999	1,245	246	1,171	172	-74	1,149	150	-96	-22